

大人の好奇心満たす船の街 長崎県佐世保市

独特の風情が魅力

九州の西端に位置する長崎県佐世保市は、人口約26万人の長崎県第2の都市だ。リアス式海岸の良港を抱え、明治期から軍港として栄えてきた。基幹産業である造船業は、戦後に旧日本海軍の造船拠点をルーツに発展した。産業の母としての柱である観光も、軍港の要素に米国の文化が加わり独特の魅力がある。さらに豊かな自然やハウステンボスが観光地としての厚みを増す。軍港の歴史が大人の好奇心を満たしてくれる佐世保の魅力を紹介する。

伝統ある造船業

「SSK」と呼ばれる親しまれる佐世保重工業は、本社が東京だが、雇用面やサブプライチーンでの地元への経済効果は大きい。技能センターでは協力会社の技術者向け講習を行うほか、工業系学生に技術アップにも貢献する。同造船所は係船池の岸壁をはじめ、一部に国有地を借り受けて使用する。同社の2011年3月



街のランドマークである佐世保造船所

理由は旧日本海軍の佐世保海軍工廠の造船施設を譲り受けて、46年に設立したことに関係が深い。現在でも海上自衛隊の護衛艦や米海軍の船舶の修理を手がけており、国防においても重要な役割を担う。

企業理念は「地元の期待に応え、日本社会の役に立ち、世界からも信頼されるモノづくり企業になろう。そうあり続けよう」。佐世保という世界に開いた街において、同社は地域を支え、また地域に支えられている。

佐世保重工業社長 湯下善文氏に聞く

佐世保重工業の湯下善文社長は2011年6月に就任したばかり。3代ぶりの生え抜きで、また佐世保出身ということもあり地域の期待は大きい。佐世保への思いと今後について聞いた。

「社長就任の率直な気持ち」

造船を軸に新分野開拓

「大学進学で一時地元を離れたが、生まれも育ちも佐世保だ。佐世保重工業は子どものころの憧れであり、工場見学に来るなど身近な存在だった。親が勤務している同級生も数多くいた。私は36年間勤めてきたが、社長になることは想像もしなかった。経営環境は厳しいが、乗り越えたい。乗りたい。楽しみたい」

「勝つ残る戦略は。」「売上高の7割強が新造船だ。だがリーマンショック以降、顧客である海運業者の状況は厳しい。」「新造船以外はいかがですか。」「修繕船ではバラスト水管理条約が発効関連で、船舶用水処理分野で新しい展開が見込める。今年7月にはマレーシアで、バラスト水処理装置の取り付け工事を初めて施工した。船以外では浮体式洋上風力発電システムの開発が進んでいる。国内

い。世界的に荷動きが鈍く、運賃が上がり続けている。造船需要は落ちたため、加えて当社の主力7万5000トンクラスのバラスト水管理装置は、中国や韓国勢がリードしている。価格競争では太刀打ちできないため、付加価値を高めるために、ニーズはスピードから省エネに移っている。液化石油ガス(LPG)船などのE&E(エネルギーと環境)に力を入れて、今後売り込みをかけていく。」「市は造船業を、協力事業所を含め、造船所構内で約3000人が働いている。家族を含めれば数は数倍になる。今後とも基幹産業として存続する責務を認識している。また当社は旧佐世保海軍工廠のルーツ。佐世保港に力をつけていく。」「佐世保市にとって佐世保重工業は、どのような存在だとお考えですか。」「『オーシャンローズ』号の改装工事手がけた。今後、佐世保港へも観光の寄与が増えれば、観光の側面支援もできる。地域や社会への貢献は当社の企業理念。私が子どものころからそうであるように、地域の誇りでありたい」

ゆした・よしふみ 75年(昭50)愛媛大工学、同年佐世保重工業入社。02年執行役員、07年常務執行役員、10年取締役、長崎県佐世保市出身。58歳。

歴史と文化に触れる

佐世保の文化に触れるなら、ぜひ時旅さきたびツアーを活用したい。佐世保の歴史と現在を同時に味わえる「海軍さんの港まちバスツアー」がおすすめ。毎月第4日曜開催の米海軍基地の見学ツアー。海上自衛隊施設を見学するスペシャルツアーだ。海上自衛隊隊員が監導見学や護衛艦乗船、米海軍基地での昼食などが詰まった非日常の約6時間が待っている。普段は立ち入り難しい施設に入る、めったにない文化だけでなく、豊かな自然もあるのが佐世保の魅力。中心部から少し足を伸ばせば、大小208の島々が連なる「西海国立公園 九十九島(くじゅうくしま)」が眼前に広がる。展望台からの眺望は絶景の一言、時間



時旅ツアーでは護衛艦に乘船できるコースも

食・旬と異国情緒を満喫



カキは冬が旬。小粒だが食べ応えがある

忘れてならないのがグルメ。ボリュームたっぷり「佐世保バーガー」もおいしいが、冬はカキが旬。カキは冬が旬。小粒だが食べ応えがある。最もおいしくなる。九十九島で育ったカキは身が引き締まった小粒。だが独特の地形が良質のプラントンを提供し、濃厚な味わいに食応えあり。シーズン中は産地ならではのメニューも提供され、イベントも実施される。一方、肉好きに朗報なのが、12月に始まる「西海・佐世保ビフグルメフェス」。薄切り肉にレモンソースをかけた「レモンステーキ」は佐世保発祥。また旧日本海軍由来のビーフシチューは、各店のアレンジが加わり、食べ比べの価値ありだ。長崎特産「長崎和牛」ハンパもぜひ食べてみたい。ブフェア期間中は全26店舗で特典が付け、おなかを満たした佐世保の夜は、ぜひ一夜遊びマッパ片手に街を歩きたい。中心部は外国バスターミナルが立ち並び、もちろん日本人も大歓迎。英語が飛び交い、ジャズや生演奏が響く店内は、異国情緒に浸れること請け合い。週末にはガイド付きツアーも用意されており、安心して楽しめる。ツアーに問い合わせて、佐世保観光情報センター(0956-22-6630)へ。

遊ぶ 光る佐世保の存在感

ハウステンボスは17世紀オランダの街並みを再現したテーマパーク。2012年に開業20周年を迎える。場内を流れる運河やクルーズ船など、品な欧州の雰囲気がある。10年からは人気アニメ「ワンピース」をテーマにしたアトラクションが始まり、来場者の幅を広げた。



新アトラクションで来場者の幅が広がった

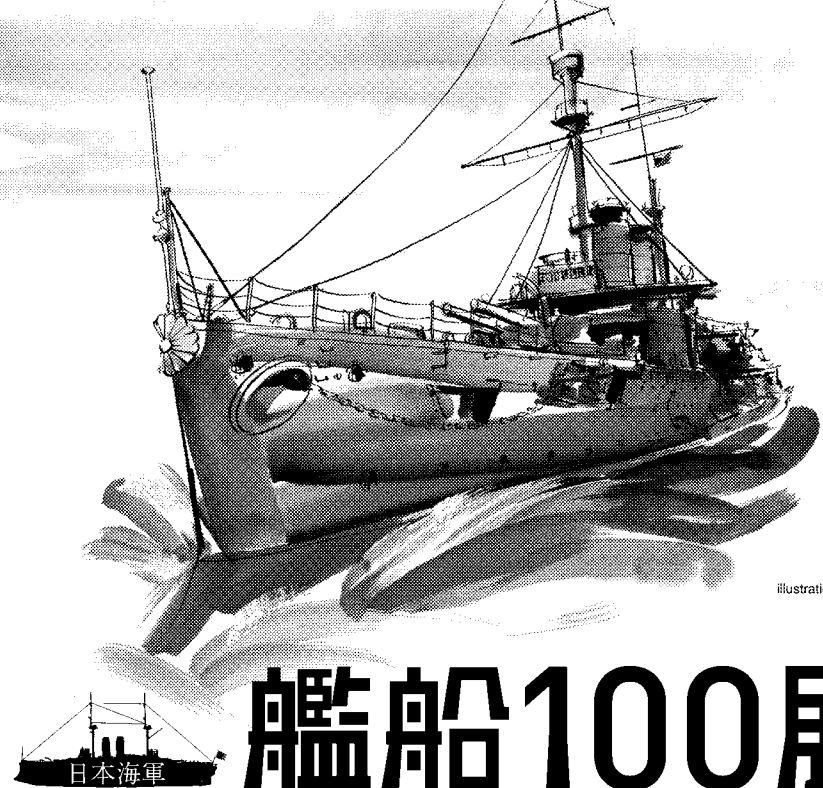
「好きです難しい仕事！」

営業品目	設備概要
レーダーマスト	天井走行クレーン
フォアマスト	油圧プレス
アンテナポスト	シャーリング
ベンチレーター	ペンディングローラー
トロリーホイスト	鋸 盤
アルミ製煙突	アイアンフッカー
集塵設備	鋼板・型鋼自動ストッカー
クレーン操作室	ユニバーサルバンダー
ラセン階段	CO2・TIG溶接機
小型機却炉	溶断・切断ロボット
	NCプラズマ切断機
	三次元CAD及びCAMシステム

ISO 9001 株式会社 西日本工業 本社 〒859-3223 長崎県佐世保市広田4丁目2番1号 TEL 0956-38-4305 FAX 0956-38-4255 E-Mail info@nishinonkogyo.co.jp ホームページ http://www.nishinonkogyo.co.jp

小説『坂の上の雲』に登場する『佐世保』の特別展

日本で唯一の艦船画家、上田毅八郎氏の作品70点と200分の1スケールの戦艦三笠や武蔵など精巧模型30点を展示。エアフォトグラファー多胡光純氏による、「港まち佐世保」の映像も初公開。



海洋艦船画家 上田 毅八郎氏

ボックスアートの第一人者。昭和16年陸軍船舶砲兵として出兵し乗船中被撃沈6回、利き腕の右肘も失いましたが、「戦友のために」と描き続け、世界的に高い評価を得ています。今回は5,000点に及ぶ作品から佐世保にゆかりのある艦船を中心に70作品(うち原画50作品)を初公開します。

エアフォトグラファー 多胡 光純氏

モーターパラグライダーを操り、地上50cmから3,000mまで、まさに鳥のような動きで空中から映像を切り取っていく。9月中旬から約3週間かけて撮影した佐世保港やその周辺、護衛艦、SSKのクレーンなど、迫力ある映像を期間中、随時上映。約15分間。

同時開催
■「秋山真之の生きた時代」展
会場/海上自衛隊佐世保史料館「セイルタワー」
■「坂の上の雲と佐世保」展
会場/佐世保市立図書館

SASEBO海軍さんの港まちツアー 要予約
海上自衛隊OBやアメリカ海軍基地関係者のガイドで巡る。佐世保でしか体験できない日帰りバスツアー。毎月(基本)第4日曜1回のみ限定ツアーです。
料金/大人 8,500円(バス・ガイド・昼食・保険料含む)
※今後実施予定日: 1月22日、2月26日、3月25日

お問い合わせ・申し込み
(財)佐世保観光コンベンション協会
時旅デスク TEL (0956) 23-7212 (にきたの) FAX (0956) 23-6750

日本海軍

艦船100展

平成23年11月1日[火]→平成24年1月31日[火]

くっけん広場ギャラリー 10:00～21:00 無休 入場無料
佐世保市下京町8-10(親和銀行旧支店) ※小学生以下のお子様は保護者のご同伴をお願いします
主催: 佐世保市、させば四ヶ町商店街協同組合 (問い合わせ) TEL 0956-24-4411

佐世保の観光に関する問い合わせ 佐世保観光情報センター (9:00～18:00 年中無休)

TEL 0956-22-6630 ホームページ http://www.sasebo99.com/

無線技術で ICT 社会に貢献します。

創業以来培ってきた無線技術をコアに設計・開発から製造・保守・リペア業務まで「ものづくり」全般にわたるソリューションを提供いたします。



九州域内にサービス拠点を設け高い技術力と迅速なサポート体制で地域に密着した ICT 機器の保守を提供しております。

お客様システムの安定稼働のために。

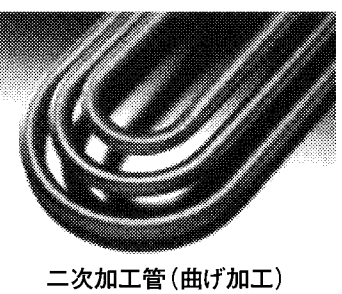
未来を切り拓くテクノロジー 株式会社 九州デン TEL (0956) 46-1001
本社 〒857-0115 長崎県佐世保市柚木元町 2360 TEL (092) 473-5022
福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前 2-19-27 TEL (044) 741-2351
川崎支店 〒211-8585 川崎市中原区下小田中 2-12-8

これまで蓄積された技術の有効活用を図るとともに、更に技術開発力を高めて付加価値の高い商品づくりを進めております

炭素鋼、合金鋼、低温用鋼については、JIS規格、船級規格をはじめとし、各種海外規格 (ASME、ASTM、DIN etc) も製造します。製造可能寸法は外径4mm～165.2mm、最長21.5mの超長尺管の製造が可能です。その他に、独自の技術を駆使した異形鋼管及び各種二次加工品の製造についても、一貫生産が可能であり、お客さまの幅広いご要望にお応え致します。又、九州トップクラスの配管材在庫間屋としての機能も併せ持っております。



各種異形鋼管



二次加工管(曲げ加工)

OSAKA STEEL TUBE CO., LTD.

お問い合わせ先: 0956-58-5611 (代表) FAX: 0956-58-5638

〒859-3454 長崎県佐世保市針尾北町813番地1 URL http://www.osaka-kokan.co.jp/